

他市施策で鎌倉に取り入れるべき施策(第3回検討会まとめ)

検討会意見	項目	新施策など
鯖江市市民役条例 ネーミングが良い 鎌倉らしいネーミング	条例名	
比較表下段 鯖江市の部会名がユニーク	条例名	
税金だけがお金じゃない。 信託とかもっともって有意義な活用を	財源	・ファンド(行政又は民間など) ・ふるさと納税による寄附
自販機売上げ 行政施設は多く 効果 期待できる	財源	・寄附型自動販売機の設置
ふるさと納税 鎌倉ファンは多い	財源	
プロボノ制度の強化	人材	・プロボノ制度 ・専門アドバイザー派遣(税理士、社労士など)
プロの方がボランティア団体に協力、技術を指導する。→ことをコーディネートする。	人材	
役割の交換 高齢者-若者 時間、体力、知恵、お金	人材	・人材バンク ・人材・団体のマッチング機能
若者グループを先輩市民グループOR専門家が評価し、おしあげてあげる施策 育てる	人材	・若い世代が参加しやすい仕組み
プロボノ スキル・ノウハウを持った人の地域・団体へのマッチング	人材	
NPO専門アドバイザー派遣 税理士、社労士(NPO法人に精通する方) NPO法人税理士による公益活動サポートセンター(東京地方税理士会)	人材	
「川崎ゆめパーク」、冒険遊場、不登校の子どもの居場所 乳幼児親子の居場所	場	・活動場所(一定の広さ、会議室、ふらっと立ち寄れるコミュニティスペース)の提供 ・バリアフリー、キッズスペース等の配慮
子どもの問題 居場所は基本無料であるべき 公設、市民営がいい	場	・公の施設の利用方法
公の施設 本来の利用者以外の人が使える空間を確保して(交流のため) 利用時間外は開放して(自己負担・責任)	場	
市民が集まって議論できるような「場」	場	
教育施設の余剰スペースの利用	場	
場の提供 バリアフリー化 + キッズスペースなど	場	
市民活動実績データベース どんな人がどんな公益的活動をしてきたかのデータ メンバー拡大、実績評価、委託の可能性を見込んで	情報	・市民活動実績データベースの構築 ・委託実績の公表制度 ・提案、相談等の公表制度
委託した場合の成功例を知りたい→共に失敗のない結果を生みたい	情報	・オープンデータの整備
文化的都市 カマコン等の地域の団体の力等を活用	情報	・支援情報の広報強化
提案、相談の可視化 めんどくさい の防止 見られている意識	情報	
市民の意見を可視化する(身元を明かして)	情報	
オープンデータの整備・公表(公衆トイレ、AED、道路工事等)	情報	
市民活動運営会議がNPO支援しているがその内容は?	情報	
情報提供 カマコンなど IT系企業と協働でウェブの情報管理・発信の強化	情報	

検討会意見	項目	新施策など
冒)かまくらで15年もずっと市との協働でやっている。そろそろ常設に(不)クラスにひとりはある。大問題。家族は本当につらい乳)少子化対策は仲間作りがカギ	仕組	・市との協働から継続した事業へ移行できるような仕組み。(相互提案協働事業の見直しなど)
どんな人にも活躍のチャンスがあることを保証する。お年寄りから子どもまで様々な参画メニューを用意して前向きに進めたい。	仕組	・各分野の(レベルの高い)専門スタッフによるNPO向専門相談 ・行政参入支援講座
行政側の受け入れの必須化(全てとは言いませんが)市民導入できる理由を求めるとは導入できない理由を説明してもらおう。	仕組	・市民活動相談窓口の設置(権限を持った職員を配置し、ワンストップで多様な相談に対応する) ・協働コーディネーター制度
担当課としても行政各課が受け入れやすく、プラスになる見せ方、準備、施策を用意できるとよい。	仕組	・NPOセンターの運営の仕組の見直し(職員派遣、指定管理の見直し)
技術 情報 有償 無償 ハイレベルのものを求める?	仕組	・指定管理者制度、委託仕様書の見直し(市民活動推進の視点)
NPO向け相談業務 「専門相談員」制度 各分野の専門NPOスタッフ(先駆的)(土業など)	仕組	・幅広い参画メニュー(市政、市民活動へ) ・行政側の施策における市民参加の必須化(不可能はものは除く)→基本は必須とし、導入できないものはその理由を説明する。
市民団体の課題を受け止める相談窓口 偉い人が常駐する(ワンストップ)	仕組	・市民活動団体評価制度
「協働コーディネーター」制度の設置	仕組	・経費の算出基準の策定(フルコストリカバリー)
行政事業参入トレーニング講座をNPOセンターで開講 これであなただも立派に市の仕事が手伝える。ノウハウを学んでグループを強化する。レクチャーやWSあるといいね	仕組	・市の縦割りを繋ぐ部署の創設(権限とお金を持った部署)
NPOセンターへの職員派遣	仕組	・役割が被っている組織の一本化(組織の見直し)
指定管理者非公募の選定基準を作る(札幌、横浜の例)	仕組	・地域支援の強化(支所機能の見直し)
指定管理者選考委員の選定基準を作る	仕組	
委託仕様書 自由度を高く 審査員だけで決めないで(誰のためにある)	仕組	
経費 フルコストリカバリーの考えのもと計上を	仕組	
NPO市民団体を評価する取り組みを	仕組	
評価の前に 団体の活動現場でのヒアリング「調査」をしては	仕組	
行政のタテワリをつなぐような部門 (権限と金あり)	仕組	
大船支所、大船再開発 一体化	仕組	
NPOセンター、社協 一体化 二重の役割	仕組	
観光協会、観光課 一体化	仕組	
花火大会⇒民間委託	仕組	
支所機能強化⇒連合会を取込	仕組	
観光行政 ⇒ ガイド協会 民間人 できる	仕組	
政策の根拠となる出来事 大元は NPOの活動現場にある(ことが多い)	仕組	